

中期経営計画2026

FY2024-2026

かわせつ 未来にむかって、夢と希望を切り開く

2024年4月26日



川崎設備工業株式会社

『未来に向かって夢と希望を切りひらく』

はじめに

移り変わりの激しい時代、夢と希望のある未来に向かって、変えてはならないものそれは安心して暮らせる日常生活と周りの人々への思いやり

社会インフラを支える企業として、環境問題や自然災害に対し、日常生活を守り、社会に必要とされる、夢と希望、一筋の光を与えられる存在でありたい

グローバル化、多様性、価値観が刻々と変わる社会情勢の中、変化を恐れず、わたしたちは未来に向かって夢と希望を切りひらく

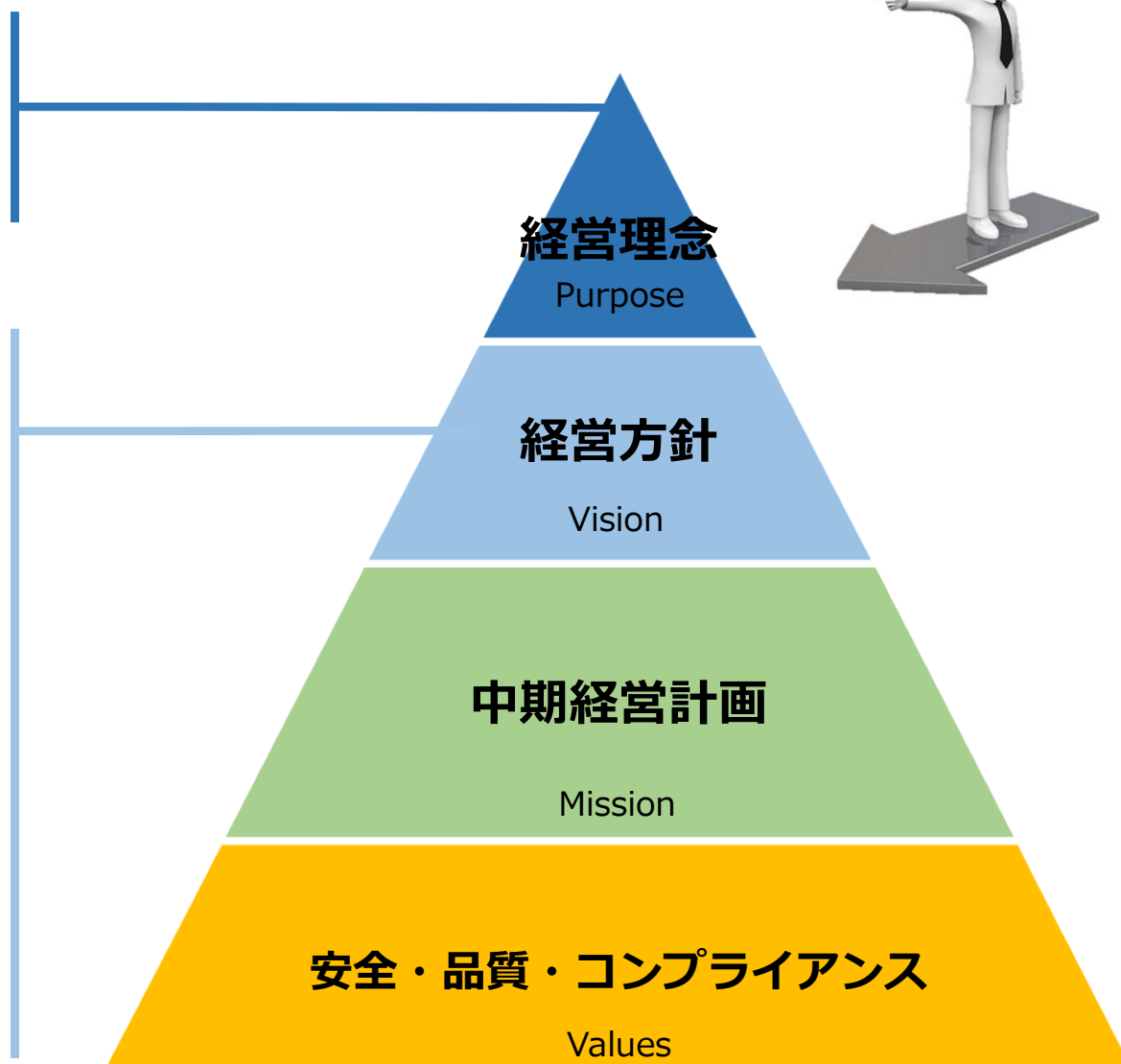
事業環境

- 国際紛争の激化と地政学的リスクの高まり
- 安全保障上の観点から、防衛費や半導体産業への補助金が増加
- 2025年には団塊の世代の方々が75歳以上になり、医療や介護など社会保障費の増加による財政上の課題が拡大
- 日銀のゼロ金利政策の解除による金融政策の転換
- 少子高齢化が招く深刻な人材不足と人件費上昇の継続
- 再開発や建替等による建設需要の拡大
- ドローンの活用や3次元データによる施工、施工管理、建設機械の自動運転化など、ICT化による業務効率化が加速
- 2024年4月 時間外労働の上限規制が開始
- 政府の国土強靱化の推進による建設投資の継続

わが社は常に未来を見つめ、明るく、正しく、強くをモットーに日常の経営活動を通じて社会の発展と環境の保全と改善に貢献することを究極の目標とする。

当社は、空気調和、冷暖房、給排水衛生設備、電気工事の設計、施工を通じて社会の発展、環境の保全と改善に貢献することを経営理念として事業活動を行っております。

1. 最高の技術を結集して、優れた品質の仕事を、適正な価格で顧客に提供する。
2. 絶えず生産性の向上に努め、適正な利益を確保する。
3. 仕事を通じて品質と性能の維持向上に努め、社会の環境の保全と改善を積極的に推進する。
4. 全社に相互信頼と協力の気風を培い、組織の総力を結集する。
5. 従業員の安全な職場環境の維持に努める。



1 前中期経営計画（2021-2023）振り返り

- 基本方針・主な取り組み P. 4
- 経営目標 P. 5
- ESGの取り組み P. 6

2 新中期経営計画（2024-2026）

- 重点方針 P. 8
- サステナビリティに関する取り組み P. 10
- 経営目標 P. 11

前中期経営計画（2021-2023）振り返り①

基本方針・主な取り組み

総括：6つの基本方針のもと、全社一丸となって各施策に取り組んだ。

その結果、予定通り実施できたもの、継続して実施していくものなど、それぞれの施策によって状況が異なるが、全体としては概ね目標に沿って実施できた。継続して実施していく施策については、新中期経営計画2026に盛り込み、引き続き取り組んでいく。

基本方針	主な取り組み
1. 社会に貢献し夢のある会社の実現に向け、黒字安定経営と成長の継続	<ul style="list-style-type: none">サステナビリティ方針の制定営業利益目標の達成（3ヶ年連続）
2. 事業基盤として「安全、品質、コンプライアンス」の継続徹底	<ul style="list-style-type: none">優良工事現場／改善好事例の表彰コンプライアンス研修の拡充
3. 工物品質管理、工事原価管理の継続強化	<ul style="list-style-type: none">品質パトロールの強化とクレーム事例の早期展開原価管理の強化による営業利益率の向上
4. 生き活きとした会社づくりと人的資源の強化	<ul style="list-style-type: none">「伝わりやすい・わかりやすい」をコンセプトに、動画や画像で視覚的に伝えられるマニュアル作成アプリの導入及び教育の実施新卒採用にオファー型採用活動を導入通年採用に成功報酬型人材サービスの強化・拡充年次有給休暇の積立制度に育児目的使用を追加名古屋市から『ワーク・ライフ・バランス推進企業』に認定
5. DXの推進・実現により、業務の改善・効率化を図り、働き方改革を推進	<ul style="list-style-type: none">グループウェアを導入し、スケジュール管理や電子承認によるペーパーレス化を促進基幹システムの更新により、業務効率化を促進部署や世代の枠を越えたコミュニケーションの活性化を目指し、電子会議室『川設掲示板』を設置Zoomを利用したWeb会議を導入すべての工事部員及び設計部員にBIM対応CAD（3次元モデル）を配付デジタルサイネージの導入
6. カーボンニュートラルの実現とSDGsの達成による社会への貢献	<ul style="list-style-type: none">CO2排出量（Scope1、2）及びサプライチェーン排出量（Scope3）を算出2030年のCO2削減目標（2013年度比50%）を設定し、削減計画を策定ZEB推進のため、一般社団法人環境共創イニシアチブが公募するZEBプランナーへ登録太陽光発電装置を設置（本店/中部支社、豊田支店、各務原営業所）名古屋市から『エコ事業所』に認定

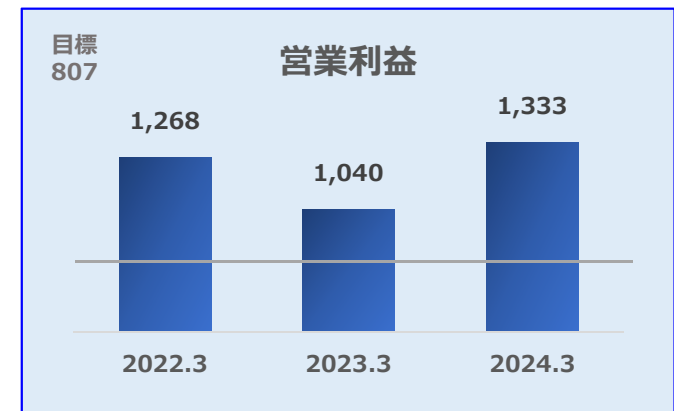
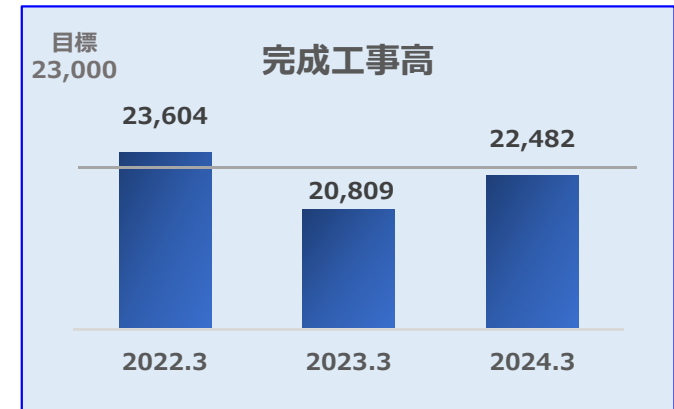
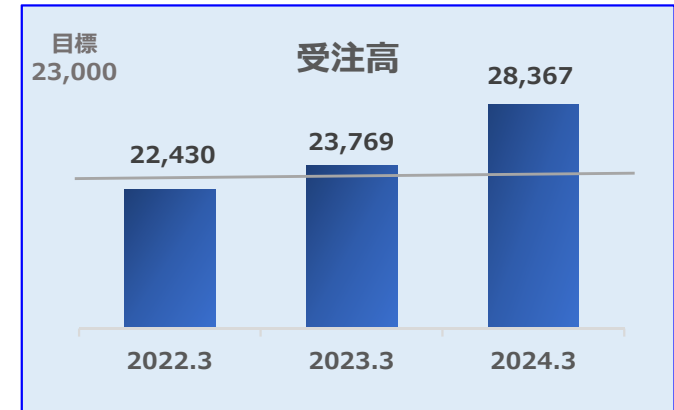
前中期経営計画（2021-2023）振り返り②

経営目標

総括： 受注高は、公共投資、民間設備投資ともに良好であり、順調に推移している。
 完成工事高は、2022.3は大型工事の竣工により好調な結果だったが、2023.3および2024.3においては、大型工事の工期延伸等が影響し、目標達成とはならなかった。
 営業利益は、利益重視の営業活動が功を奏し、安定的な成果をあげられている。

(百万円)

	中期経営計画2021-2023			
	2024.3 目標値	2022.3 実績	2023.3 実績	2024.3 実績
受注高	23,000	22,430	23,769	28,367
完成工事高	23,000	23,604	20,809	22,482
営業利益 (率)	807 (3.5%)	1,268 (5.4%)	1,040 (5.0%)	1,333 (5.9%)



前中期経営計画（2021-2023）振り返り③

ESGの取り組み

総括：2030年度の目標を見据え、2023年度までの目標を掲げて各施策に取り組んだ。順調に成果が上がっているもの、なかなか上がらないもの等、個々の施策によって状況が異なる中、新中期経営計画2026において新たな施策、継続する施策を盛り込み、2030年の目標達成に向けて取り組んでいく。

	関連するSDGs	マテリアリティ	取り組み概要	主な実施状況
環境問題への取り組み (E)	 	脱炭素社会の実現	カーボンニュートラルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZEB提案、省エネ提案 ・ 自社ビルへの太陽光発電装置設置率 30% ・ 施工IT化に向けたBIM研修の実施 ・ iPadの活用率 70% ・ グリーン購入法製品の調達率 56%
			地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全事業所のLED化 100% ・ 元請現場でのゴミ分別 94% ・ 社用車のエコカー化 6.6% ・ ISO14001認証継続
社会問題への取り組み (S)	 	従業員エンゲージメントの向上	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新基幹システムの導入と電子決裁への移行 ・ 健康診断、ストレスチェックの実施 ・ 有給休暇取得平均日数 12日 ・ 男性育児休暇奨励にともなう制度の見直し（男性育休率 40%） ・ 階層別教育等の総合的な人材育成体制の構築
			ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性社員比率 14%（全管理職に占める女性管理職割合 1.4%） ・ 70歳までの再雇用継続 ・ 障がい者の法定雇用率達成 2.5%
		地域社会への貢献	ボランティア活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の清掃活動 1回/月 ・ エコキャップ、自動販売機による募金、フードバンクへの寄付
ガバナンスへの取り組み (G)	 	ガバナンスの強化	コンプライアンスの遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス委員会の開催と周知徹底 ・ コンプライアンス研修継続
			リスクマネジメントの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅による電子申請、承認作業を実現

1 前中期経営計画（2021-2023）振り返り

- 基本方針・主な取り組み P. 4
- 経営目標 P. 5
- ESGの取り組み P. 6

2 新中期経営計画（2024-2026）

- 重点方針 P. 8
- サステナビリティに関する取り組み P. 10
- 経営目標 P. 11

－かわせつ 未来にむかって、夢と希望を切り開く－

このスローガンのもと、以下5つの重点方針を定め、業務運営に当たるものとする。

1. 生産性の革新と成長の実現
2. 環境設備技術の推進
3. 健全な経営活動の推進
4. 総合力発揮による収益基盤の強化
5. 健康経営の実現

重点方針

取り組み

1. 生産性の革新と成長の実現

- ・ 生産性の革新
- ・ 成長の実現

- ・ 施工社員一人あたりの生産性の向上
- ・ DX技術による業務の効率化と施工の省力化
- ・ 工事サポートグループの強化による働き方改革の実現

2. 環境設備技術の推進

- ・ 脱炭素戦略

- ・ カーボンニュートラルに向けた研究開発への参画
- ・ ZEB設計比率の拡大、ZEF設計への取り組み
- ・ CO₂排出量削減計画の更なる促進

3. 健全な経営活動の推進

- ・ ガバナンスの強化
- ・ 人材育成と安全衛生活動

- ・ 「安全、品質、コンプライアンス」の継続
- ・ コーポレートガバナンス体制の強化
- ・ 技術力向上に向けた教育研修の拡充
- ・ 安全衛生活動の充実

4. 総合力発揮による収益基盤の強化

- ・ 収益基盤の向上

- ・ リニューアル、産業施設工事の受注拡大
- ・ 元請比率の拡大と利益率の改善
- ・ 協力会社との関係強化
- ・ 関電工グループとの連携による領域拡大











5. 健康経営の実現

- ・ 夢と希望、思いやりのある企業風土

- ・ サステナビリティ活動の継続と深化
- ・ ダイバーシティの実現と人的資本への投資
- ・ アサーション活動の浸透
- ・ 多様な働き方の促進と意欲を喚起する評価

サステナビリティに関する取り組み

サステナビリティ経営推進による社会価値の創造

	マテリアリティ	取り組み	対応するSDGs
E	脱炭素社会の実現 ・カーボンニュートラルの実現 ・地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ZEB提案、省エネ提案件数の増加 ・太陽光発電装置の自社ビルへの設置 ・グリーン購入法製品の採用推進 ・社用車のエコカー化促進 	  
	従業員エンゲージメントの向上 ・働き方改革の推進 ・ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・電子決裁システムへの移行 ・人的資本への投資 ・有給休暇の平均取得日数増加 ・女性社員の採用と高齢者雇用の継続 ・障がい者の法定雇用率達成の継続 	  
	地域社会への貢献 ・ボランティア活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の清掃活動の継続 ・エコキャップ活動の継続 ・自動販売機による募金活動の継続と自動販売機の設置台数増加 ・防災備蓄品の寄付（フードバンキング） 	 
G	ガバナンスの強化 ・コンプライアンスの遵守 ・リスクマネジメントの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・内部統制システムの整備 ・コーポレートガバナンス体制の強化 ・企業倫理・コンプライアンスの周知徹底 ・積極的な情報開示 	 

■ 中期経営計画2026においては、次の目標を設定する

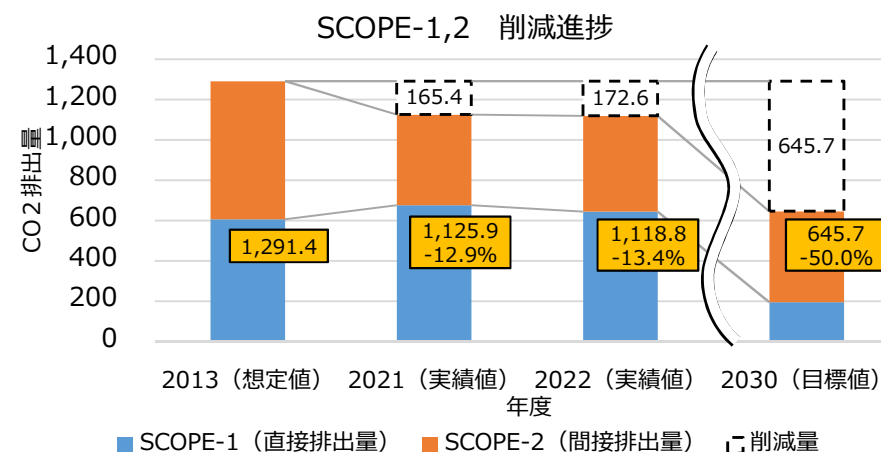
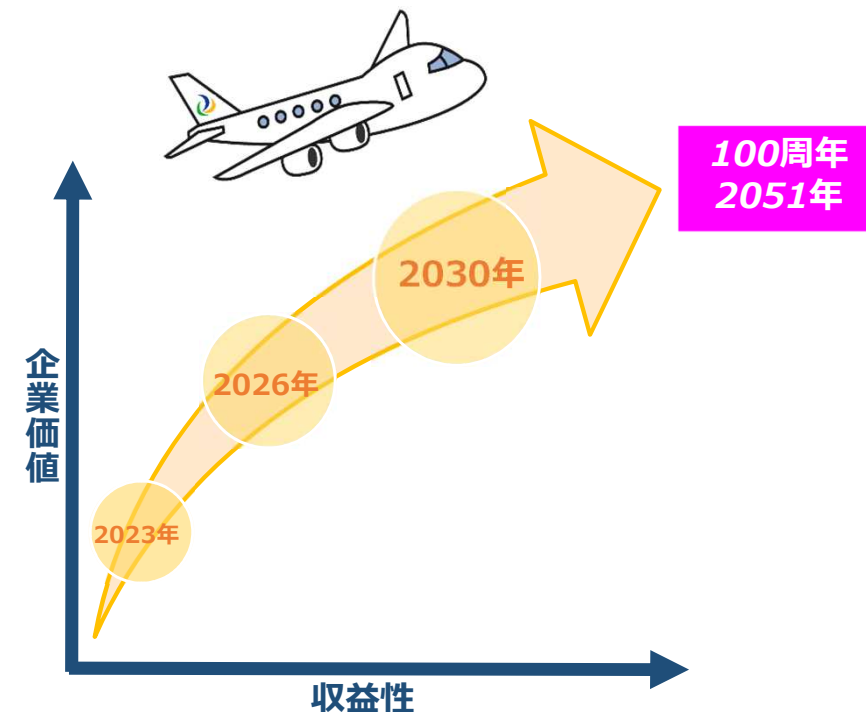
財務目標

(百万円)

	2026年度
受注高	29,000
完成工事高	28,000
営業利益 (率)	1,280 (4.6%)

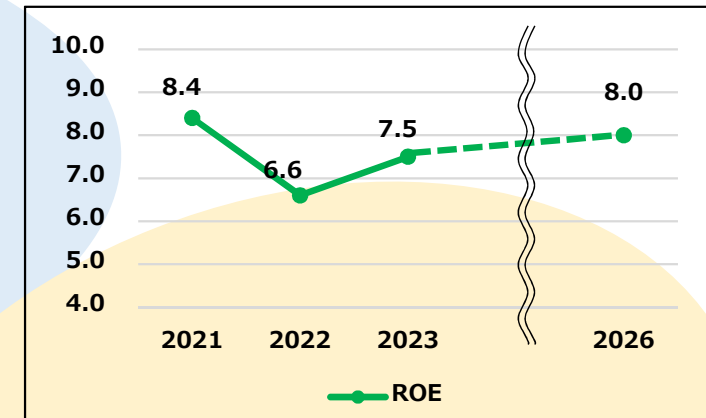
非財務目標

	2030年度
事業活動に伴うCO ₂ 排出量 (スコープ1・2)	50%削減 (2013年度比)



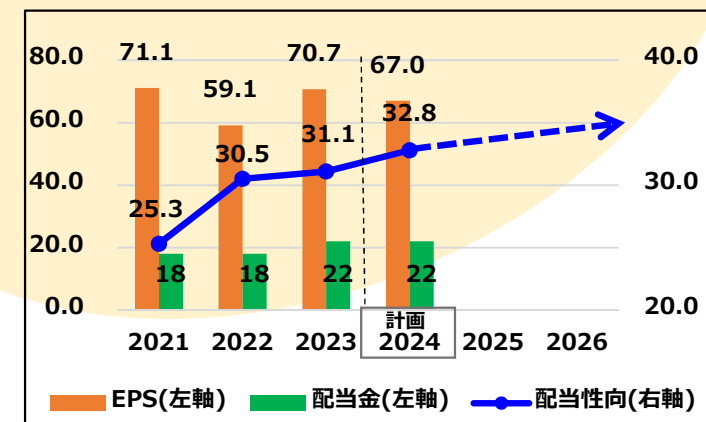
資本政策

- 持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向け、資本コストを意識した資本構成および資本効率の最適化を目指すことを基本方針としています。
- 2026年度 ROE8.0%の達成**



株主還元

- 業績や情勢等を総合的に勘案し、企業体質の改善、経営基盤の強化を図りながら、安定配当の継続を行うことを基本方針としています。
- 配当性向30%以上の継続**



本資料に掲載しております将来についての計画や計数目標に関する記述は、当社が現時点で入手できる情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、記載されている目標等と異なる結果になる可能性があります。



【お問い合わせ先】
経営企画本部
TEL：052-221-7700